



枕崎市

# 市議会だより

2018

1

月号

No.299

謹賀新年

新しい年が市民の皆様にとりまして  
幸多き年となりますよう  
お祈り申し上げます

写真：平成29年の初日の出（火之神公園から）

## 主な記事

- 委員会審査の概要・・・1P
- 議案と結果・・・6P
- 一般質問・・・7P
- 市民と市議会との意見交換会・・・10P
- 編集後記・・・13P

### 編集

枕崎市議会報調査特別委員会  
〒898-8501  
枕崎市千代田町27番地  
TEL：0993-72-1111

# 新年のごあいさつ

枕崎市議会議長 新屋敷 幸隆

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様方におかれましては、新しい年を迎え、喜びや希望に満ちあふれていることと存じます。

さて、昨年は台風や雨にたたられ、さまざまなイベントが影響を受け中止等となりましたが、小学校の運動会では、子供たちが雨に打たれながら、観客の大きな声援の中、一生懸命走っておりました。逆境の中、目的に向かって突き進む姿に大変感銘を受けたところでもあります。

議会におきましては、「開かれた議会」を目指し、4回目の「市民と市議会との意見交換会」を開催いたしました。今後、参加者から出された貴重な意見を踏まえて議論を深め、市勢の発展につなげてまいりたいと思っております。

議長として、財務省、農林水産省をはじめ、あらゆる省庁や国会議員へ、交付税、港湾、道路、農業、水産業等の地方の現状、活性化を訴える要望活動を行いました。国の元気は地方の元気から始まる。新年度も粘り強く活動をしていくことを固く決心する次第でございます。

今年、明治維新150周年、大河ドラマ「西郷どん」が始まり、県全体に大きな波及効果があると思込まれます。西郷どんが宿泊したことのある本市も、さらに全国に周知されることと期待しております。

新しい年が市民の皆様にとりまして、実りある、より良い年でありますように祈念し、枕崎市議会をよろしくお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。

## 平成28年度決算 一般会計など7会計を認定

### 平成29年第4回定例会

平成29年第4回定例会は、9月8日から10月10日までの33日間の会期で開かれました。

この定例会では、予算関係議案6件、平成28年度各会計の決算の認定7件、陳情1件などについて審査を行い、11・12日の本会議では、6名の議員が一般質問を行いました。

主な内容については、次のとおりです。

#### 委員会審査の概要

##### 総務文教委員会

##### ○議案第51号

##### 枕崎市過疎地域自立促進計画の変更について

は、平成28年度末の182事業に対し、195事業となっているとのことです。

問 今回、小中一貫教育（連携型）から小・中連携教育へ改められるが、違いについて

答 平成27年度の学校教育法の改正により、義務教育学校が設置できるようになり、従来の小中一貫教育の連携型及び併設型の定義づけが変わったことから、文言上、混乱を生じることのないよう変更する。なお、本市の場合

は、小学校・中学校が1小1中であることから、9年間の教育を見通しつつ、それぞれの学校がそれぞれのよさを発揮して連携を深めることで、個性豊か

たくましい児童生徒の育成をすることができると考えており、小・中連携教育というかたちが適しているのではないかと考えている。

問 今回の計画変更に係る県との手続はどのようなものになるのか

答 あらかじめ県とは協議しており、地域振興局、さらには本課とも確認し、協議が整ったことから議会の議決を得ることになっている。

枕崎市過疎地域自立促進計画の一部を変更することについて、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項において準用する同条第1項の規定に基づき、議会の議決を得ようとするものです。

今回の事業の追加等により、当計画期間中における事業数として

○陳情第2号

若者も高齢者も安心できる年金制度実現のための意見書の提出を求める陳情

**問** 年金額に係る特例水準とマクロ経済スライドは、どのようなものか。

**答** 特例水準とは、年金額は、毎年の物価や賃金の変動に応じて翌年度の年金額を改定する仕組みとなっており、平成12年から平成14年の物価の下落時に、特例措置として年金額を減額せずに据え置いたことにより本来の年金額よりも2・5%高い水準であったことを特例水準といい、マクロ

経済スライドとは、現役人口の減少や平均余命の伸びなど、そのときの社会情勢に合わせた年金の給付水準を自動的に調整する仕組みである。

■委員からの意見等

・これ以上、年金を引き下げないでほしい、もう食べていけないという声があちこちから聞こえてくる。年金制度を守っていくためにも、この要請は必要ではないかと思う。

予算特別

委員会

○議案第46号

平成29年度枕崎市一般会計補正予算(第2号)

◇補正予算の主なもの

中学校施設整備費

**問** 市内小・中学校の校舎等の雨漏り補修や老朽化した箇所の改修工事の計画はどのようなものか。

**答** 校舎等の大規模改修は今のところ計画はないが、屋内運動場の雨漏りのほか、渡り廊下、体育館等の床などで補修等が必要となるが、来年度以降年次的に補修を行う計画である。

危険空家等

**問** 危険空家等の状況に関して、空き家を解体したときには、住宅特例が撤廃されるから増税になるとのことだが、固定資産税はどういうふうに変化するのか。

**答** 危険空家等の所有者等に法に基づく勧告を行った場合は、税務課へ通知することになっており、勧告を行った時点で、住宅用地に対する固定資産税の課税標準の特例措置はなくなる。なお、危険空家を解体撤去したときの固定資産税は、一般的に市街地の宅地等については上がるが、その土地の現況地目や

周辺の地価の状況等によって評価が変わることから、一概に固定資産税が上がるということではない。

■委員からの意見等

・所有者等が明らかでない危険空家について、他の自治体では、解体などの代執行に係る条例を設けている事例も見受けられる。本市において、二次災害が発生することがないよう条例の検討とあわせて危険空家対策に取り組んでほしい。

○議案第47号

平成29年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

財政安定化支援事業

**問** 財政安定化支援事業繰入金の減額分について、歳入欠陥補填収入を増額せず、その減額分を一般会計から法定外繰り入れで措置することにしているか。

**答** 平成29年度までは財政健全化行動計画の期間内であり、財源不

○議案第48号  
平成29年度枕崎市後高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

補正の内容は、平成28年度決算に伴う精算分で、後高齢者医療広域連合納付金及び一般会計繰入金精算返納額の増額である。

○議案第49号

平成29年度枕崎市介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正の内容は、介護給付費準備基金積立金、介護給付費負担金等返納金及び一般会計繰出金の増額である。

**問** 第7期老人福祉計画・介護保険事業計画の策定はスケジュールどおりに進んでいるのか。

**答** 現在、各課へ取り組むべき事業等の見込み等について提出依頼をしているところであり、今後スケジュールに沿って計画の策定



を行っているいきたいと考えている。

○議案第50号

平成29年度枕崎市立病院事業会計補正予算(第1号)

今回の補正は、収益的支出において、給与費の減に伴い医業費用を1751万3000円減額、消費税課税事業者に該当することになったため、消費税及び地方消費税等の納付の必要が生じたことに伴い、医業外費用を137万円増額、特別損失を435万1000円追加しようとするものである。

**問** 平成29年度の入院・外来患者の状況について

**答** 4月から7月までの累計においては、入院患者数は伸びているものの、外来患者数は減少傾向が続いている状況であるが、入院患者数が増になっている関係で、入院・外来の

総合の収益面では前年度を上回っている。

**問** 消費税がこれまで納付されていなかったことに對する今後の対応等について

**答** これまで医業収益が入院費用や外来費用も入った収益であったことから、医業収益全体は非課税として処理し、その他医業外収益の一部を除く部分だけが課税対象の売り上げに当たると考えていたが、今回、調査の結果、医業収益においてもその他医業収益の部分、文書料、検査料関係、室料等が対象となることから、今後は適切に課税ということとら

え、医業収益の中でも課税部分があるということに對していきたい。

決算特別委員会

○認定事項第1号

平成28年度枕崎市一般会計歳入歳出決算

乗合タクシー等

**問** 乗合タクシー等の取り組みについて

**答** 交通弱者に對しては何らかの支援が必要であるということは認識しており、本年度、地域包括ケア推進課において、生活支援における地域の課題やニーズを把握する中で、高齢者、障害者を中心にどのような移動手段の支援、またどういった利用形態を希望するの

かという意向もあわせて把握し、その集約の結果をもって交通事業者の方々の協議を行っていききたいと考えている。

■委員からの意見等

・高齢化、過疎化が進行している中、即座に実現できないのであれば、つなぎの措置として何らかの暫定措置を講じてほしい。

火之神公園へのアクセス

道路

**問** 火之神公園へとつながる海沿いの道路は、

草木が繁茂し車道に覆いかぶさっている場所があり景観上も好ましくない状況が見受けられる。

**答** 市内観光の周遊コースとして、お魚センター、明治蔵、火之神公園までをアシスト自転車を利用して、または歩いて周遊する観光客が多いので、歩道のあるほうは市の職員が草丈の短いうちに除草剤を散布し、通行に支障がないよう対処しているが、民有地側については草木の除去の許可が必要なことから十分な管理が行き届かない状況である。

**委員からの意見等**  
・火之神公園は整備が順調に進み、来園者の受け入れ体制はだいぶ整ってきたと思うので、アクセス道路についても草木等の適切な管理をしてほしい。

街路樹等の管理

**問** 市道の街路樹等の管理について

**答** 通常、街路事業として整備する場合は道路工事と植栽をセットで計画するようになったおり、植栽部分は市街地に緑をつくるという目的で高木、低木を植栽しているが、平成27年度から整備中である立神通線の街路事業については、街路樹の植栽はせずに車道と歩道のみを整備している。また、既に植栽されている街路については、交通安全の面からも維持管理に努めており、植栽が視界の妨げになつていくとの声があれば、すぐに剪定等を実施するなど迅速な対応をとっている。

■委員からの意見等

・街路樹が植栽された市内の街路においては、場所によってその植栽が通行上の視界の妨げになっていくとの市民の声をよく耳にするので、今後とも、交通事故が起きないように日頃の点検、維持管理に十分配慮してほしい。

【各会計の決算収支状況】

会計別	歳入(決算額)	歳出(決算額)	差引額	
一般会計	114億2,767万6,938円	110億5,001万3,154円	3億7,766万3,784円	
特別会計	国民健康保険	44億1,848万0,831円	44億1,449万2,340円	398万8,491円
	後期高齢者医療	3億2,192万7,734円	3億1,963万0,824円	229万6,910円
	介護保険	24億0,063万2,489円	22億7,231万5,555円	1億2,831万6,934円
	公共下水道事業	7億4,962万8,920円	7億2,734万4,571円	2,228万4,349円



## 就学援助費

**問** 就学援助費の現状について

**答** 小学校費の就学援助費は、要保護及び主要保護の世帯の児童200人に援助を行っており、全児童の約20%が必要な援助を受けている。また、中学校費の就学援助費は、要保護及び主要保護の世帯の生徒110人に援助を行っており、全生徒の約20%が必要な援助を受けている。

**答** その方向で実現できるように検討したい。

## 地方交付税

**問** 平成28年度の普通交付税が前年度と比較して大きく減額となった主な要因について

**答** 普通交付税の算定において用いられる人口数値は、平成27年度までは平成22年度の国勢調査人口で算定され、平成28年度からは平成

27年度の国勢調査人口で算定されており、平成27年度は平成22年度と比較して約1500人減少したことが影響している。また、公債費の減少に伴って公債費に係る交付税措置額が減少し、基準財政需要額を押し下げていることも影響している。



橋梁補修事業の調査（新橋）

## ○認定事項第2号

平成28年度枕崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

## ○認定事項第3号

平成28年度枕崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

**問** 保険給付費に関し、1人当たり医療諸費について

**答** 入院は21万814円、入院外は15万4221円である。

また、1人当たり医療費については、本市は平成28年度で、19市中4番目に高い金額と見込まれている。医療費が高額となっている理由については、本市は生活習慣病、特に循環器系の受診率が高いことや、入院では精神科の入院患者が多いことなどが原因であると考えられており、その対策として、精神疾患の入院費もしくは治療費を引き下げることが難しいことから、生活習慣病の発症予防もし

くは重症化予防を取り組んでいくことが現在の重点項目である。

## ■委員からの意見等

・前期高齢者の医療費が全体の医療費に影響を及ぼすことから、きちんとデータをつかんで分析していく必要があると思っており、医療費が年度によって大きくぶれたら国保会計に大きく影響してくることから、きちんとエックしてほしい。

## ○認定事項第4号

平成28年度枕崎市介護保険特別会計歳入歳出決算

**問** 新しくできた地域包括ケアシステムは、どのような活動をされているのか。

**答** だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる地域包括ケアシステム構築に向けて、市民向け講演会を開き意識啓発をしたり、地域や多様な事業者等による支え合い

のシステムづくりに取り組んでいる。また、新しい総合事業の取り組みのための事務を平成28年度中から進めており、平成29年度から事業を開始している。

**委員からの意見等**  
・介護認定のおくれにより、その間サービスを受けられない状態の生活を強いられるといったことがないよう、認定審査をもっとスムーズにできるようにしてほしい

・成年後見制度について、より理解してもらえようような効果的な周知に努めてほしい。

## ○認定事項第5号

平成28年度枕崎市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算

**問** 現認可区域における今後の整備計画について

**答** 現在整備中である立神北町が終われば外港のみが残るが、外港のほとんどは県の所有

地であることや、この区域は夜間は人があらず昼間の使用料しか得られないことが想定されることから、今後、費用対効果の面、接続の可能性についての意向等も調査しながら検討していきたいと考えている。

**委員からの意見等**  
・今後の事業のあり方を分析、検討する上で、使用料に関しても区画ごとに詳細な分類、整理をしてほしい。

## ○認定事項第6号

平成28年度枕崎市立病院事業決算

**問** 患者数の推移について

**答** 患者数の減については、本市人口の自然減も一要因として考えられるが、そのほかにも、複合的な要因が影響しているのではないかと判断している。  
**委員からの意見等**  
・平成27年度、28年度の患者数が減となった

ことは、人口減により減少したとは考えられない。さまざまな要因があると思うので、きちっと分析して病院経営に生かしてほしい。



擁壁・法面変状対策事業の調査

○認定事項第7号  
平成28年度枕崎市水道事業決算

問 今後の建設計画について

答 水道ビジョンに基づいて長期的な計画を策定中であり、片平山配水池の更新事業に2億円程度要すると見込まれることから、現在老朽化や耐震性につ

て考慮しながら、優先順位を検討している。

【公営企業の決算状況】

会計別	収入(決算額)	支出(決算額)	差引額	
病院事業	収益的	6億5,495万9,485円	6億5,896万0,255円	△400万0,770円
	資本的	426万6,000円	2,868万8,800円	△2,442万2,800円
水道事業	収益的	5億0,108万1,866円	3億9,152万9,322円	1億0,955万2,544円
	資本的	3億3,109万5,172円	7億9,985万6,399円	△4億6,876万1,227円

国保運営健全化・健康増進対策特別委員会

○委員会の開催経過

第1回(4月26日)

・正・副委員長の互選について

・調査事項等について

第2回(5月19日)

・本市の健康づくりに関する事業の現状と課題について

第3回(7月11日)

・枕崎市健康づくり推進条例(仮称)(案)の検討について

第4回(8月21日)

・枕崎市健康づくり推進条例(仮称)(案)の最終案の作成について

○9月議会における委員会の中間報告の概要

本委員会は、設置期間中に8回の委員会を開催する予定である。

既に4回の委員会を開催したので、これまでの委員会での調査を整理し、今後の調査のあり方についての課題を明確にするため中間報

告をするものである。

第2回目の委員会においては、執行当局に出席を求め、現在実施している本市の健康づくり事業の現状と課題について調査を行った。健康づくり事業については継続的に不断の調査を行うこととし、調査の成果として、枕崎市健康づくり推進条例(仮称)の制定について検討を行うこととした。

位と高い税額であること、また、法定外繰り入れも平成28年度までに約6億4800万円が投入されていること、さらに、来年度30年度の国保制度改正を見通したとき、どうしても今、市民の健康づくりを市全体としてより一層推進していくため必要な条例であるとの認識で委員会は一致したところである。

健康づくりにおける市の責務、市民の努め、また、条例制定に当たっては、遅くとも12月議会での提案、平成30年4月1日から施行することを確認し、審議を進めてきたものであり、できるだけ早く実現するように中間報告を行うこととしたものである。

条例(案)の検討に当たっては、既に健康づくり推進条例を制定している県内の日置市や鹿屋市、また、県外の宮崎県児湯郡川南町の健康づくり条例を参考にしながら、本市に適合する条例を、その必要性を含め、条文案の条項ごとに検討を行った。

また、本市が現在設置している「健康まくらさぎ21策定検討懇話会」について、本条例案に適合するよう「健康づくり推進協議会」への発展解消を要望する意見が多く出された。委員会として期待する「枕崎市健康づくり推進条例(仮称)」は、最終的に全委員の合意を得てまとめられたが、本条例を制定するには、本行政の中で中心的な部分である保健行政にかかわる条例であることから、委員会としては、執行当局による条例提案を希望した。

条例制定の背景として、医療費が県内上位(平成27年度県下43市町村中第4位)であること、国保税の1人当たり調定額が県下5

また、平成27年度県下43市町村中第4位であること、国保税の1人当たり調定額が県下5

また、本市が現在設置している「健康まくらさぎ21策定検討懇話会」について、本条例案に適合するよう「健康づくり推進協議会」

度改正まで半年を切った中で、制度改正に伴う納付金、標準保険料率をはじめ、特に国保財政運営に関する調査を深めていくこととしている。

番号	議案名等	議決結果
議案第46号	平成29年度枕崎市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第47号	平成29年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第48号	平成29年度枕崎市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第49号	平成29年度枕崎市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第50号	平成29年度枕崎市立病院事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第51号	枕崎市過疎地域自立促進計画の変更について	可決
議案第52号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第53号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書	可決
議案第54号	平成29年度枕崎市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第55号	北朝鮮によるミサイル発射及び核実験実施に対する意見書	可決
認定事項第1号	平成28年度枕崎市一般会計歳入歳出決算	※認定
認定事項第2号	平成28年度枕崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	※認定
認定事項第3号	平成28年度枕崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	※認定
認定事項第4号	平成28年度枕崎市介護保険特別会計歳入歳出決算	※認定
認定事項第5号	平成28年度枕崎市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	※認定
認定事項第6号	平成28年度枕崎市立病院事業決算	※認定
認定事項第7号	平成28年度枕崎市水道事業決算	※認定
	平成28年度枕崎市水道事業剰余金処分計算書	可決
陳情第2号	若者も高齢者も安心できる年金制度実現のための意見書の提出を求める陳情	採択
報告事項第5号	健全化判断比率について	報告
報告事項第6号	資金不足比率について	報告
	議員派遣について	
	国保運営健全化・健康増進対策特別委員会の中間報告	
	継続調査申し出について	

（議決結果欄の※は、採決で賛否が分かれ、賛成多数または少数で議決されたもの）



交通弱者対策について



永野慶一郎 議員

問 今後、運転免許証の返納者が増えるか、免許返納者への優遇制度など、本市ではどのような対応をしているのか。

答 本市においては高齢者運転免許自主返納割引制度を開始しており、市内26事業所が加盟し、買い物料金の5%割引を行うことで運転免許の自主返納者への支援をしている。

問 運転免許を返納したら、買い物や病院に行く交通手段がなくなるため大変不便だという声を聞くが、こういった交通弱者といわれる方たちへの対応をどう考えているのか。

答 地元の交通関係事業者、高齢者、障害者の方々等で組織するコミュニティ交通市民会議において協議・検討をしたが、統一的な方たちでの理解を得ることができなかつたということなどで、それ以降の協議は進んでいない状況にある。

問 鹿児島県内のほかの自治体では、行政とタクシー会社がタイアップし、乗合タクシーの活用が進んでいると聞くが、本市では乗合タクシーの活用は検討しないのか。

答 高齢で運転免許証を返納された方などの通院や買い物などの外出で困っている、支援が必要な方がいるということは、高齢者等実態調査などにおいて承知しているところであり、関係団体等で構成する生活支援体制整備に

関する会議においても課題としてとらえ情報収集をしているところである。

高齢者等の移動手段の確保・支援については、今後も継続して調査・研究し、先行自治体の事例等も参考にしながら、庁内関係各課と協力・連携して検討を進めていきたいと考えている。



その他質問事項

・ 枕崎市地方創生総合戦略について

新年度(平成30年度)からの国民健康保険制度改正について



立石幸徳 議員

問 7月5日付の全国紙に、「枕崎漁港にコンテナ施設」という見出しで記事が掲載された。この記事は間違っていると確認しているのか。

答 新聞記事の誤りにについては認識している。新聞記者に誤りがあると申し上げている。市民に対する正確な周知については、今後検討する。

問 9月4日、県の国保運営協議会が開かれ、来年度からの県国民健康保険運営方針案が協議された。来年度からの国保制度改正が、住民が理解した上で、円滑に移行していくために、こういった心構えで改正作業に取り組んでいるのか。

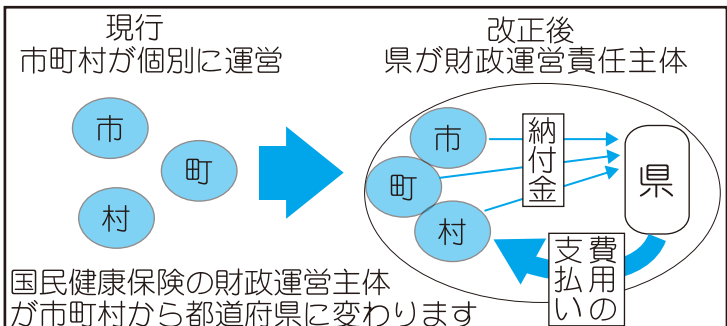
答 庁内関係課で構成する市民の健康づくりと国民健康保険事業安定化対策委員会を開催し、来年度か

問 太平洋クマダグロについては、3年前の2014年11月17日に、国際資源保護連合が、絶滅のおそれがあるレッドリストの中に絶滅危惧種と指定し、沿岸漁業を含め、すべての漁業種類が協力して資源回復に取り組んでいる。

答 本市の小型マダグロ漁業の実情はどうなっているか。

答 本市漁業者の総水揚げ金額に対するクマダグロの水揚げ金額は小さいものの、第3管理期間の平成30年6月までにどの程度来遊してくるのか予測がつかないが、漁獲規制による本市

らの国保税のあり方をはじめとする制度改革への対応について、庁内での横断的な共通認識を図るとともに、円滑な制度移行に向けた対応策を協議している。さらに、作業部会を設置して詳細な検討を進めている。



その他質問事項

・ 医療費抑制対策について

鹿児島自転車条例について



男 通 占 彌 議員

問 10月1日に施行される条例の趣旨、規定の周知はなされているのか。

答 本市は、夏の交通事故防止運動の実施要領に、当該条例の周知を特別推進事項として位置づけ、啓発用のチラシの配布ホームページへも掲載している。

問 本市の自転車事故に関する状況については。

答 平成28年中は、物損事故が7件、人身事故5件の合計12件となっている。

問 学校関係としては、自転車についての安全教育はどのようになっているのか。

答 条例公布後、各

小・中学校に対して、文書や広報紙の配布、校長・教頭研修会、校外生活指導連絡会等で本条例の趣旨についての周知、全面施行に伴い適切な対応がなされるよう指導している。



かごしま子ども調査について

問 鹿児島県の子供貧困率は12・9%、本市の貧困率はどの程度なのか。

答 この調査は、市町村ごとの集計・分析がなされていないので、枕崎市の貧困率

はわかっていない。

問 本市で対象になった保護者数は何名であったのか。

答 対象になった保護者数については正確には把握できていない。枕崎小学校の1年生、立神小学校の5年生、別府中学校の2年生の保護者が対象になったと聞いている。

問 本市保護者の所得類型の割合はどのようになるのかということをお伺いしたいが、可能なのか。

答 市町村ごとの集計・分析がなされていないので、この調査で本市保護者の所得類型ごとの割合については定かではない。

今、市では県の調査と同様の所得類型による分類ができないかということで作業を進めている。

制度改正で国保税はどうなる



子 榮 留 豊 議員

問 国保の広域化に向けて、県に運営の主体が移ることになり、全国では国保税が大幅に上がる市町村が増えるというが、本市の状況はいかがか。

答 制度改正に関する国の動向の情報収集に努めることともに、県や県内他市町村との関係では、国保新制度移行準備連絡会議や医療費適正化部会などに出席し、特に本市国保税に大きく影響を及ぼす国保事業費納付金や標準保険料率などの算定方法などに係る協議結果を注視している。

問 本市の国保税がどのように試算されているのか、また、市

民への公表はどのようにするのか。

答 平成30年度の各市町村保険負担総額を算出するための県の試算、最終的に30年度以降、市民の皆さんに幾ら税負担をお願いするのかというものの試算が、今後10月から12月にかけて行われる。それが最終的に確定するのが、年明け1月になるだろうというスケジュールが示されていることから、確定した本市の保険税負担総額を踏まえ、新しい枕崎市の国民健康保険税の姿を市民の皆さんに公表できるのは、精いっぱい作業を急いでも、平成30年1月から2月という日程にならざるを得ないのではないかと考えている。

問 国保制度が県に移行しても、制度そのものが後退しないように、また、国保税が

軽減されるよう、市として力を尽くすべきではないか。

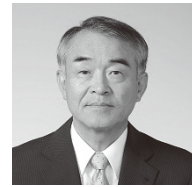
答 国保財政は、制度改革においても厳しい状況が続くと考えていることから、これまでと同様、市民が安心して医療を受けることができるよう、市長会を通じて国に対して財政支援を要望していきたいと考えている。



その他質問事項

- ・子育て支援について
- ・農業の活性化について
- ・環境整備について

日本でただ一つの海蝕双橋をどのように活用するのか



■ ■ ■  
明 史 城 森 議員  
■ ■ ■

**問** 平成29年4月、火之神岬町の海蝕双橋が、本市で初めて県指定天然記念物に指定された。日本でただ一つの海蝕を受けしている海蝕双橋である。枕崎の財産としてどのように活用するのか。

**答** 活用については、県文化財課と連携して考えていく。そのためにも、まず市民の方に知っていただくことが大切なので、周知に努めていく。

**問** 火之神公園に新しい観光資源が生まれた。立神岩や平和祈念展望台等とあわせて、観光資源として活用できないか。

**答** 観光資源として今

後活用していくためには、まず観光客の安全面を重視した見学しやすい通路の整備等が課題であると考えている。



県の天然記念物の指定を受けた海蝕双橋

**問** 地方創生総合戦略の「枕崎で安定した雇用を創出する」の中で、コンテナヤード施設の整備に向けた取り組みを強化するとある。市長の平成29年の広報まくらぎきの新年のあいさつにおいては、すべてコンテナヤードの話だった。よほどの実現に対する確信・勝算がないと書けないういと思う。市長はどういう思いで書いたのか。

**答** 現在のところ、漁港にはコンテナヤードはできない。しかし、何がそんなことはあるかと、志を大きく持ってやればできるんだと、そういう思いが文章になり、掲載した。

**問** 平成27年と28年の2年間の企業誘致件数は、南九州市と南さつま市とも3件だが、本市は0件である。本市の企業誘致補助金制度は、県下の類似都市に比べ劣る内容であり、企業にとつて全く魅力のない内容である。どのように考えるか。

**答** 市長から、県下自治体に比べ引けをとらない制度に見直すよう指示を受けている。できるだけ早い時期に要件等の見直しを行う。

**その他質問事項**  
・コミュニティ交通について

国民健康保険財政の安定化について



■ ■ ■  
弘 和 清 水 議員  
■ ■ ■

**問** 生活習慣病対策として、幼稚園、学校教育、PTAなど保護者会等で取り組んでいる計画について

**答** 朝食の摂取について毎日食へる児童生徒の割合を95%以上、また、虫歯治療率を75%以上にすることを目標にしている。

**問** ノーメディアデーを実施しているとのことであるが、どの程度実施しているのか。

**答** ノーメディアデーを設け、各中学校のテスト期間に合わせ取り組んでいる。小・中学校が多いが、事の詳細については把握していない。

**問** 本市の国保の平成

21年度から25年度の1人当たりの医療費は増加、また、後期高齢者1人当たりの医療費も増加している。健康寿命延伸の取り組みは国保財政にどのような効果があったのか。

**答** 効果額の算定は行っていないが、健康寿命が延びることにより医療費や国保財政への効果は大変大きいことは間違いないと考えている。

**問** 健康まくらぎ21（第2次）の計画にはPDCAサイクルの活用は記載しているが、計画策定したものを実現可能にするためにはPDCAサイクルを活用すべきと考えるが。

**答** 計画の中にPDCAサイクルの記載はないが、PDCAサイクルを活用した評価、改善については着実に実施したいと考えている。

**問** 平成30年4月から

始まる国保税の制度改正について、都道府県向けの特別調整交付金、保険者努力支援制度が本市に与える影響について

**答** 県に交付される特別調整交付金については各市町村の事業費納付金算定時に減算される方向で検討され、また、県に交付される保険者努力支援制度分については県全体の事業費納付金算定基礎額から減算する方向で検討が進められており、本市への影響については、どちらか納付金の減額に働くものと考えている。





# 市民と市議会との意見交換会

市民と市議会との意見交換会が10月2日に市民会館と別府センター、10月3日に城山センターと立神センターで行われ、57名の参加がありました。

まず、テーマに沿った意見交換会を行い、その後、自由討論を行いました。意見交換会の主なやりとり等については次のとおりです。

◎については、後日、市当局（担当課）に聞き取りを行ったものです。

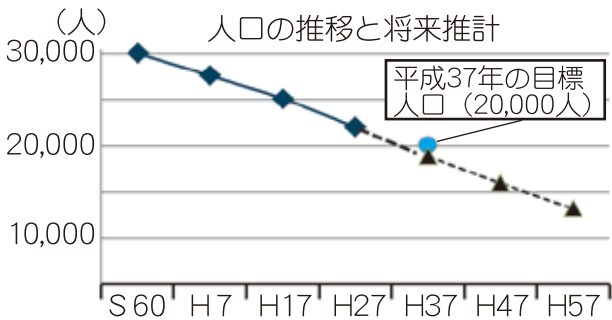
## 主な質問・意見

○テーマ

少子高齢化社会において枕崎が生き残るために何をすべきか

【会場】市民会館

**問** 子供を育てるにはお金が必要、第3子から医療費、学費などすべて無料にできるような施策、人口を増やすことを考えてほしい。  
人がいないと企業も誘致できないのでは。



**答** 市では有識者で地方創生審議会をつくり、1年間話し合われた。

また、人口ビジョン・地方創生総合戦略を立て、総合戦略をはじめとした各種計画の施策を推進していくことを前提として、平成37年の目標人口を2万人としている。

**問** 少子高齢化は今始まったことではない。ちよつとしたアイデアで頑張っている地域もある。まちの魅力は住んでいる人がつくるもの。年をとると体も弱り医療費などにお金がかかる。健康寿命を延ばしても、子供は急に増えないから、今できることをみんな一緒にやってコツコツやっていくしかない。

**答** 議会も医療費の削減、健康寿命を延ばすためにどうしたらいいか国保運営健全化・健康増進対策特別委員会を設置し取り組んでいる。

**問** 健康について、市民全員が自覚、意識を持つ。  
議員が火付け役になり、仕向ける努力が必要ではないか。  
**答** 健康まくらざき21を策定し目標を掲げ、行政、議会とも健康増進に取り組んでいるところである。  
**意見** 健康寿命を延ばすためには、家庭での食事療法、塩分を控えることが大事と考える。  
市民運動会、文化祭に笑顔で参加することが健康寿命を延ばすことになると思う。  
**意見** 今の生活の状況は、今までの食生活の結果だということ。管理栄養士から聞いたことがある。

し合われたことを取りまとめ分析し、反映して報告する責務がある。



市民会館での意見交換会

【会場】別府センター  
**問** ふるさと枕崎に戻り、養った知識や技術を活かした仕事ができるということに関し、市はどのような取り組みをしているのか。  
**答** 枕崎版地方創生総合戦略を策定し、4つの柱を中心に取り組んでいるが、その中でも人口減少に歯止めをかけることが一番の目的と考えている。

**問** 市は、5年、10年後にはこまでは達成するという目標を掲げているのか。  
**答** 今後の人口減少への目標を立て、平成37年には人口2万人を維持しようと取り組んでいる。  
企業誘致や地場産業の活性化を図り、若い人たちの定住促進に取り組んでいる。  
**問** 農業新聞で各地域に新しい人たち（福岡・熊本など）が農業をやっているとあった。別府地区も農業バンクの事業を進めているが、遊休地を活用した都会からの就農者への支援はどうなっているのか。  
**答** 志布志市では農業公社を作って、他県からの就農者を支援している。枕崎も県の農業大学校等とタイアップし、新規就農者の支援を行っている。いかなければならない。

【会場】城山センター  
南日本新聞において枕崎高校の定員表示があつたが、年々枕崎高校に進学する生徒が減少している。加世田高校等に進学する傾向が多いようである。川辺高校は優秀な生徒には奨学金等が支給されている。北薩の高校でも奨学金を出しているようである。昔は枕崎高校からも有名大

学に進んでいたのに、枕崎ではそのような施策を出さないのか、また、議会から教育委員会へ提言しているのか。

【答】市にも公的な奨学金制度は設けられて

いる。枕崎高校においても、いろいろな方法をとって生徒の入学希望者を増やすことに努めているが、なかなか成果が得られていない。

【問】なぜ枕崎高校への進学者が少ないのか。

【答】枕崎高校が総合学科になってから20年になる。中学校から高校へ進学するとき、親御さんも進学校に行かせるとか専門的な学校に行かせるとか、目標をはっきりさせづらかつたのではないか。

【問】議会側としては、有名・優秀な先生を連れてきてほしいと提言はしていないのか。もっと特色のある総合学科にしてほしい。枕崎に住んでいる者として、枕崎高校はいいよということを出してほしいと思う。

【答】8月に総務文教委員会です枕崎高校と水産高校の調査を行った。我々も何とか盛り上げたいと思っている。議会に持ち帰って検討していく。

【問】就職、進学、結婚等で枕崎市を離れた場合も枕崎に帰ってくるようにならないといけないと思うが、

帰ってこない理由の一つに仕事がないということがあるのではないか。



城山センターでの意見交換会

【答】枕崎の基幹産業は、今、外国人を雇用している状況である。また、建設業者等は、職人がいなくて規模が縮小している現状である。仕事はあるのに職人がいない、それはどういう理由なのかなど検討をしている。

【問】本市の誘致企業数は11社で、現在、総従業員数は163名である。また、企業

誘致のパンフレットも作成している。

【問】高齢者の我々はどう生きるかということを考える。子供に帰ってこないと言っても帰ってこないと言

【答】温泉の補助については、現在、市では入港した外来船の船員に対して温泉補助券（船員入浴券）を発行している。

【問】出産、子育てに関する環境を整備してほしい。出産に帰つてこれるよう、産婦人科を維持してほしい。

【答】市内の産婦人科を継続していくための補助制度を導入している。産科があるのとないのでは大きく

違う。

【会場】立神センター

【問】人口減少対策として、これまで枕崎市はどのような取り組みをしてきたのか。

【答】地方創生戦略の4つの柱を中心に、Uターン、Iターンなど枕崎市地方創生総合戦略を立て、さまざまな事業が計画されている。

【意見】人口減少については、眺めているだけではよくない。自分ができることは何か。

【問】子供たちのことを思うと、何かしなければならぬと思つている。

【問】枕崎市は財源が少ないと聞くが、どうなのか。

【答】枕崎市は自由に使えるお金が少ない。

【問】地方交付税も県内19市の中で一番少ない。

【答】本市の積立金は少ない。大災害がやっ

てきたら、本市財政はもたないと思う。



立神センターでの意見交換会

【問】学校給食の無料化はできないのか。

【答】学校給食の無料化は長続きできないと政策としておかしくなる。

【問】行政の施策・事業は、優先順位を決めてやっていかなければならない。

【問】枕崎市民の所得のレベルは県内でのどのくらいか。

【答】県内でも上位であり、最新データでは県下19市中8位とな

っている。

**問** 枕崎市の財政は県

下で何番目か。

**答** 残念ながら最低で

あると思う。財政の

見方はいろいろある

と思うが、一般的に

は大変厳しい。

**問** 少子高齢化につい

て、市議会では議論

をしているのか。

**答** 市議会では地方創

生特別委員会を立ち

上げ、6回の委員会

を開催した。

**要望** 人口減少につい

て、枕崎市独自の特

色ある具体策を考え

てほしい。

### ○自由討論

**【会場】市民会館**

**問** 市営野球場のフェ

ンスラバーについて

・他市はスポーツ団

体の誘致が積極的だ

誘致活動によって経

済効果が図られる。

・企業名の看板を募

り、コマージュナル収

入を確保してはどうか。

・国の補助事業は活

用できないのか。

・スポーツ施設は大

事だが、限られた財

源をいかにして確保

し配分するのか。

・財源確保のために

基幹産業の振興を図

るなど、市民の意識

啓発もすべきである。

**答** スポーツ振興は大

事な課題である。

多額の財源が必要

と聞いているので、

当局の見解等につい

てお話ししたい。

**意見** 議会傍聴をして

いて、答弁を係長に

させる機会が多いよ

うに感ずる。主管の

課長が行うべきだ。

**問** 防災無線が聞きづ

らくわからない。

災害から身を守る

のは市民一人一人の

自覚が大事である。

**答** 戸別受信機は、1

基当たり5〜6万円

が必要と聞いている。

現在、難聴地区も

あるため、行政無線

のデジタル化に伴い、

各家庭への戸別受信

機の設置を希望する

公民館や団体への導

入に向け、補助制度

の在り方を検討して

いる。

**問** 市民との意見交換

会はいいことだが、

行政を交えた市民会

議はできないのか。

**答** 検討したい。(市

長と語る会がある)

**【会場】別府センター**

**問** コンテナヤードの

進捗状況はどうなっ

ているのか。

**答** コンテナ施設整備

に関する調査事業を

継続実施しているが、

明確な施設内容につ

いてははまだ示され

ていない。事業主体

はどこになるのか、

輸出品目は何になる

のかなどが一番の課

題となっている。

**問** 南薩地域広域ごみ

焼却施設の様子はど

うなっているのか。

**答** 現在、ごみ焼却場

は、南さつま市金峰

町高橋が建設候補地

となっている。平成

36年度より本格稼働

となるが、環境アセ

スメント調査・建設

工事・試験運転の流

れとなるが、時間的

にあまり余裕がない

状況である。



別府センターでの意見交換会

模校であり、部活動  
の数にも制限がある  
など子供の可能性を  
狭めている状況があ  
るが、中学校の統合  
についてはどのよう  
になっているのか。

**答** 南九州市の川辺中、

知覧中は広域統合し

ているが、本市にお

いては統合の話は出

ていない。統合の基

準というのも明確な

ものはない。しかし、

PTA、教育委員会、

議会の中でも今後議

論していく必要性は

あるものと思う。

**問** 献血に対して、本

市ではどのように取

り組んでいるのか。

**答** 献血の促進につい

ては、健康課と話し

合い、取り組んでい

きたい。

**問** 駒水集落において

将来的に最も不安な

のが簡易水道の管理

であるが、今後市の

上水道で対応できな

いのか。

**答** 水道課の見解は、

現在のところ駒水集

落に市上水道を引く

のは無理とのことだ

である。将来的には別

府地区にも市上水道

で対応することが望

ましい。

水道課に申し入れ

をする。

**【会場】城山センター**

**問** ごみ処理施設が遠

くになれば持つてい

けなくなるので、ど

うにかしてほしい。

**答** ごみ処理施設は南

さつま市金峰町高橋

が候補地として内定

したが、将来的には

中間処理施設が本市

に設けられるのでは

ないかと伺っている。

**要望** 本市が候補地と

して挙げたごみ処理

施設は浄水場の近く

にあるため、大勢の

市民が水を飲むので

どうにかして内鍋山

のほうで処理ができ

るようにしてほしい。



**問** 枕崎港改修工事の中のコンテナヤードはどうなっているのか。

**答** 6月23日付で平成29年度から平成37年度までを期間とする枕崎地区特定漁港漁場整備計画が公表されたが、その中にコンテナ取扱施設の整備は含まれていない。水産庁に確認したところ、今はまだ準備していないとの回答を受けている。

**【会場】立神センター**  
**問** 農政・土木関係未登記について486件、うち農政関係276件、土木関係210件あるとのことだが、議員としてどう考えるか。

**答** 担当課と打ち合わせし、調査する。  
**◎市当局** 今後も調査等を含め、未登記の案件を減らすよう取り組んでいく。

## 市民と市議会との意見交換会 アンケート調査結果

※紙面の都合で一部のみの掲載になっていますが、ご了承ください。

### 今回の意見交換会について何が気づいた点等

- ・ 少子高齢化の歯止めについては、お金のいることですので、非常に難しい。市が無くなることについては、仕方ないのではないか？
- ・ 議論のテーマを絞ったのは良い。
- ・ 意見が多くて参考になった。
- ・ 参加者を増やす工夫は今後必要。
- ※ファシリテートの進め方についても、さらに磨きをかけていただきたい。
- ・ もっと議会（議員）が独自の考えを持ち、実行を伴った活動をしてほしい。

国や他と同じ事を

考えてもダメです！

市民と協力しあつて頑張りましょう。

・ 市民の参加者が非常に少ないことに驚きを感じた。

・ 市議会が人口減少にどんな取り組みをしたかということが、あまり見られませんでした。

若い人の働く場をつくる等。

・ 市民が主役。ひとりひとりの力を引き出せるように頑張ってください。

・ 情報公開の方法を検討してください。

・ 多くの意見が出て大変良かった。

・ 28年に比べ参加人数が少ない。(H28: 16人↓H29: 13人)

・ テーマを設ける必要があるのか？↓出席のハードルを高めていないか？

くて納得がいった。

### 今後の意見交換会(テーマ含む)の内容、運営などについて

・ 市民全体の意見交換は？

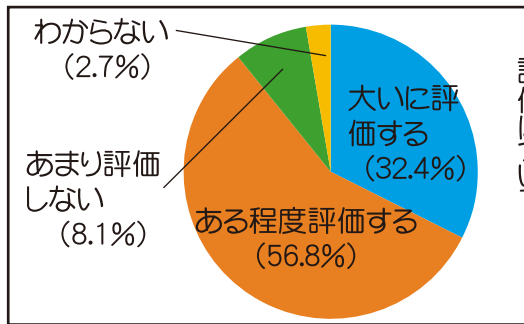
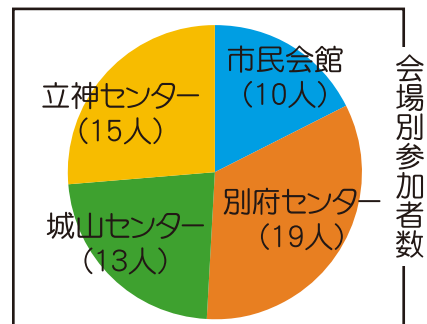
・ 継続することに大いに意義があるように思います。幅広い参加者を集めるためにも対決型(?)の議論ではなく、※ファシリテーションのやり方を工夫しては・・・。

・ またこのような意見交換会を開催してほしい。

・ 農村地区は9月、10月は忙しい時期なので、忙しい時期に開催したらどうか？

・ 人口減に危機感を強く持った。

※ファシリテーションとは、会議等の集団活動がスムーズに進むように、また、成果が上がるように支援すること。



ざいます。

今年の干支は戌ですが、戌年といえば戌の日があるように、安産の年でもあるそうです。新たに何かを生むという意味では1月には枕崎市長選挙が執行されます。新たな枕崎市のスタートの年としてもいい年になるのではないのでしょうか。

また、安産の年ですので若い世代の皆様が安心して出産・子育てのできる環境を創出できるよう、私も市議会も一丸となり取り組んでまいります。

今年一年が市民の皆様にとって、幸多き一年になりますことをご祈念申し上げます。

(永野慶一郎)

## 編集後記

市民の皆様、新年あけましておめでとーごい

- 議会報調査特別委員会
- 委員長 下竹 芳郎
  - 副委員長 永野 慶一郎
  - 委員 中原 重信
  - 委員 吉嶺 周作
  - 委員 豊留 榮子
  - 委員 清水 和弘